

(4) 道路関係

静岡県東部・伊豆地域の発展を支える道路整備として、高規格幹線道路である伊豆縦貫自動車道(東駿河湾環状道路、河津下田道路(Ⅰ期)(Ⅱ期))及び国道1号、138号、246号の改築及び維持管理並びにそれらに関する調査を行います。

令和4年度の主な事業内容

■ポイント

- 国道414号河津下田道路(Ⅱ期) 河津IC(仮称)～逆川IC(仮称)間が令和4年度開通予定
- 国道414号伊豆縦貫自動車道 天城湯ヶ島～河津の都市計画・環境アセスメントを進めるための調査を推進

◆伊豆縦貫自動車道

国道1号 東駿河湾環状道路

○大場・函南IC～函南IC(仮称)(延長1.9km)

—調査設計を推進

国道414号 河津下田道路(Ⅰ期)

○下田北IC(仮称)～下田IC(仮称)(延長5.7km)

—橋梁下部工、環境調査、水文調査、用地調査、用地買収、調査設計を推進

国道414号 河津下田道路(Ⅱ期)

○河津IC(仮称)～下田北IC(仮称)(延長6.8km)

2022年度 河津IC(仮称)～逆川IC(仮称)間 完成2車線開通予定
—改良工、橋梁上下部工、トンネル設備工、舗装工、環境調査、水文調査、用地買収、移転補償、調査設計を推進

◆一般道路

国道1号 ^{ひがしするがわん}東駿河湾環状道路（^{ぬまづおかのみや}沼津岡宮～^{あしたか}愛鷹）

○^{ぬまづおかのみや}沼津岡宮IC～^{あしたか}愛鷹IC（仮称）（延長2.6km）

―地質調査、環境調査、水文調査、埋蔵文化財調査、用地調査、用地買収、調査設計を推進

国道138号 ^{ごてんば}御殿場バイパス（西区間）

○^{ごてんば}御殿場市水土野～^{ごてんば}御殿場市ぐみ沢^{さわ}（延長2.9km）

―整備工、移転補償、環境調査、調査設計を推進

国道246号 ^{すその}裾野バイパス

○^{すんとう}駿東郡小山町生土～^{すんとう}駿東郡小山町上野^{うえの}（延長4.4km）

―測量、環境調査、水文調査、用地調査、用地買収、調査設計を推進

◆道路管理

静岡県東部地域の国道1号・138号・246号・414号の4路線、107.5kmを沼津国道維持出張所及び御殿場国道維持出張所で管理しています。

道路の維持管理

○道路パトロール、路面清掃、除草、除雪作業などを行います。

道路の老朽化対策

○メンテナンスサイクルの実施

- ・道路施設は5年に1度、定期的に近接目視点検を行います。
(橋梁、トンネル、函渠、横断歩道橋、情報板など)
- ・点検により見つかった不具合を次回の点検までに補修します。
- ・大型車通行適正化に向けた取り組みを行います。

道路の防災・震災対策

○南海トラフ巨大地震に備え、橋梁の耐震補強を推進します。

交通安全対策

○『静岡県事故ゼロプラン～事故危険区間重点解消作戦～』等により、重点的かつ効果的に交通事故対策を推進します。

・国道246号 おやまうえの 小山上野地区視距改良

・国道246号 ながいづみ 長泉IC交差点改良

○歩行者や自転車が安全・安心に通行できる歩道空間を確保します。

・国道1号 ぬまづ 沼津西部地区歩道空間改善

・国道1号 しみず 清水町地区歩道空間改善

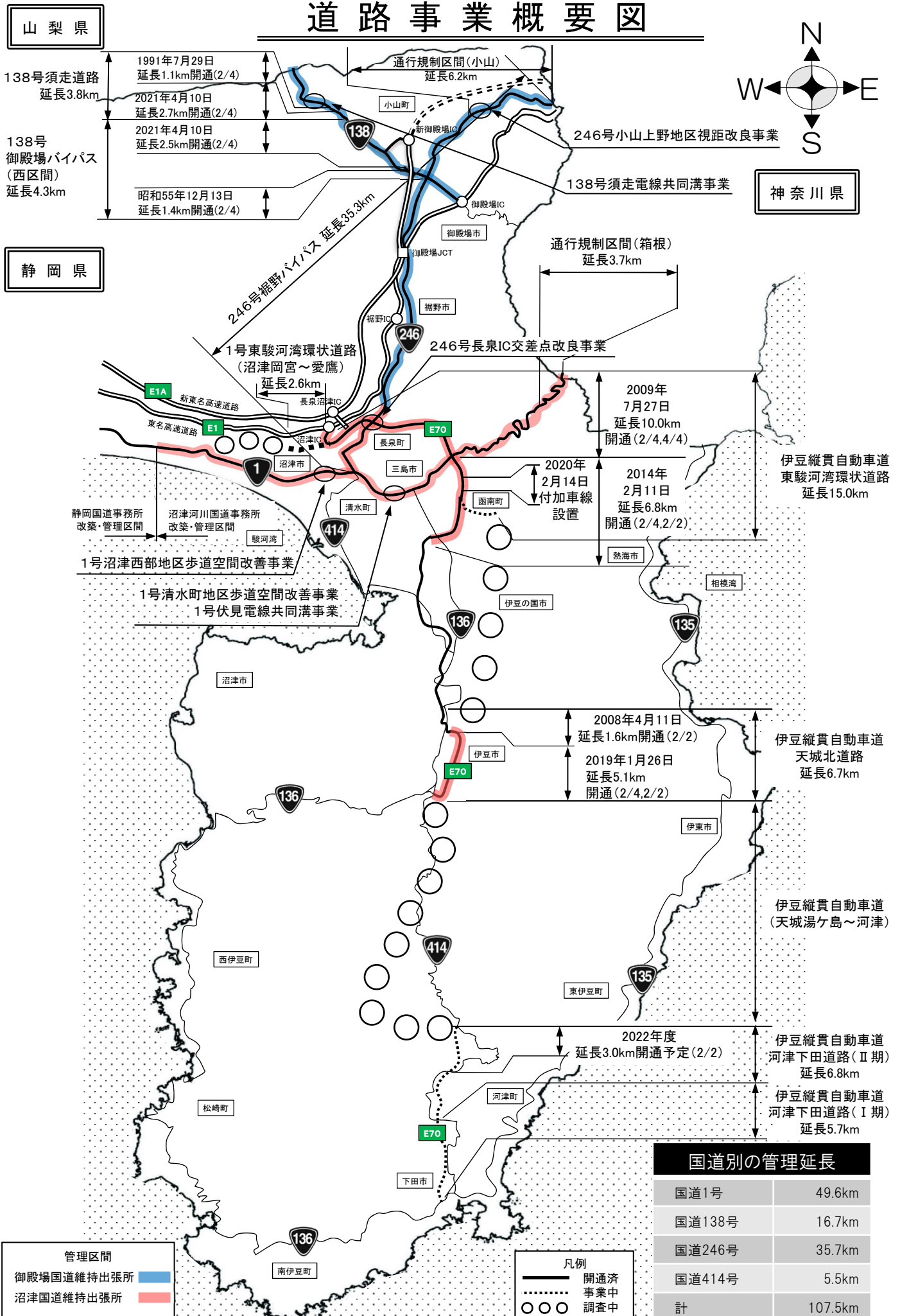
○電線共同溝を整備し無電柱化することで、地震災害に強い道路を目指すとともに、良好な都市景観の形成に向けたまちづくりを支援します。

・国道1号 ふしみ 伏見電線共同溝

・国道138号 すばしり 須走電線共同溝

○生活道路における事故削減を目指し、技術的支援をはじめとする地域との連携を推進します。

道路事業概要図



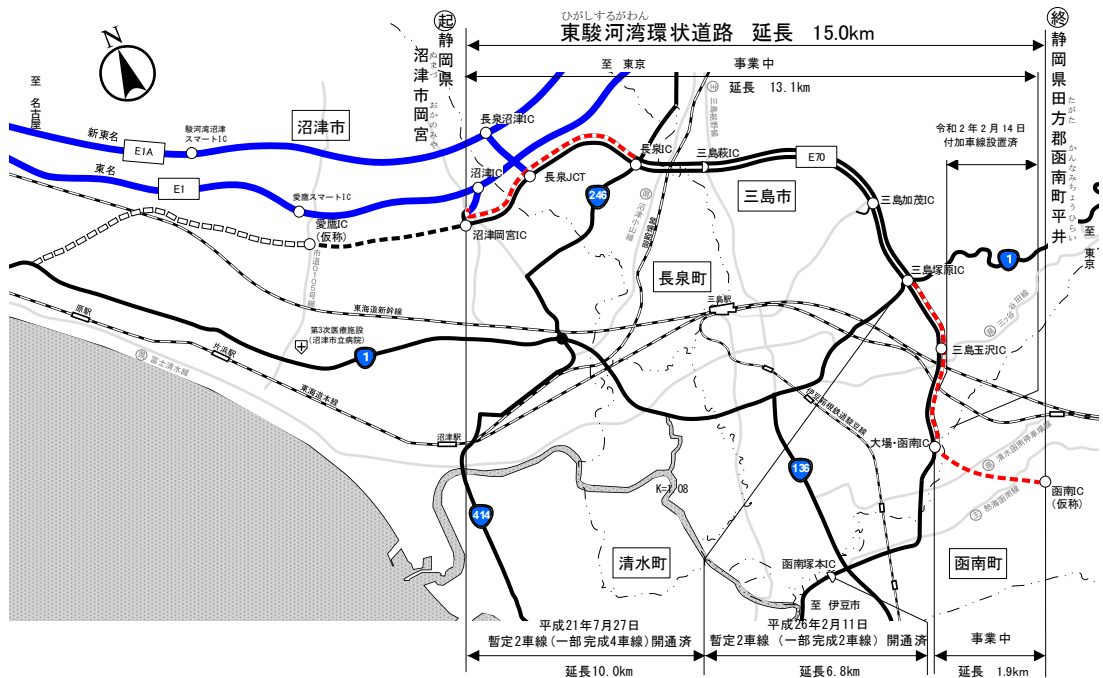
国道別の管理延長

国道1号	49.6km
国道138号	16.7km
国道246号	35.7km
国道414号	5.5km
計	107.5km

ひがしするがわんかんじょう
国道1号 東駿河湾環状道路

ひがしするがわんかんじょう いずじゅうかん ぬまづおかのみや たがた
東駿河湾環状道路は、伊豆縦貫自動車道の一部を構成し、沼津岡宮ICを起点とし、田方郡
かなみちょうひらい
函南町平井に至る延長15.0kmの自動車専用道路です。

ぬまづ みしま
沼津・三島市街地における交通渋滞の緩和、交通事故の削減をはじめ、
いず
伊豆地域への玄関口として伊豆半島部への高速サービスを提供し、地域の
ひがしするがわんかんじょう
発展、活性化を支援する東駿河湾環状道路の整備を推進します。



【これまでの開通経緯】

- 平成21年7月27日 ぬまづおかのみや みしまつかはら
沼津岡宮IC～三島塚原IC (延長10.0km)
暫定2車線 一部完成4車線開通
- 平成24年3月24日 みしまかも
三島加茂IC開通
- 平成24年4月14日 ながいずみ
長泉JCT供用 (新東名 (長泉沼津IC) と接続)
- 平成26年2月11日 みしまつかはら かなみつかもと
三島塚原～函南塚本 (延長6.8km) 開通
- 令和2年2月14日 だいば かなみ みしまたまざわ
大場・函南IC～三島玉沢IC間の上り坂区間 (延長約0.9km)

付加車線設置

【令和4年度の主な事業内容】

○大場・函南IC～函南IC (仮称) (延長1.9km)

—調査設計を推進

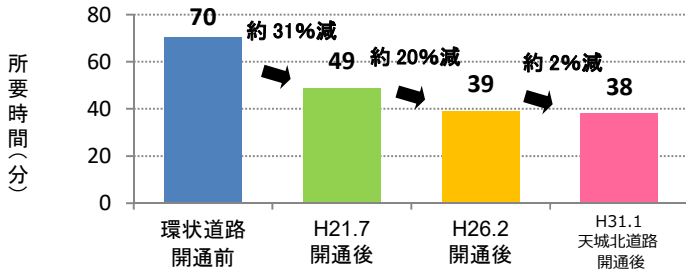
<整備効果>

■所要時間の短縮と渋滞緩和

ひがしするがわんかんじょう
 東駿河湾環状道路が伊豆中央道・修善寺道路に接続し、広域な道路ネットワークが形成され、東名
 高速道路 沼津ICから天城北道路 月ヶ瀬ICまでの所要時間が短縮しました。

○東名沼津IC～天城北道路

月ヶ瀬ICの所要時間



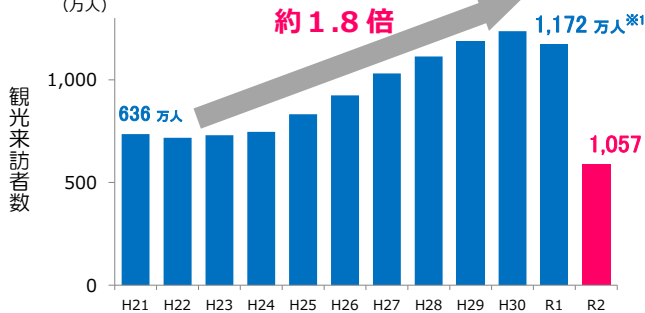
※所要時間算出方法

- ・環状道路開通前：H17 全国道路・街路交通情勢調査 旅行速度
- ・H21.7開通後：H22 全国道路・街路交通情勢調査 12時間平均旅行速度
- ・H26.2開通後：H27 全国道路・街路交通情勢調査 12時間平均旅行速度
- ・H31.1天城北道路開通後：ETC2.0プローブ情報 (H31.2)

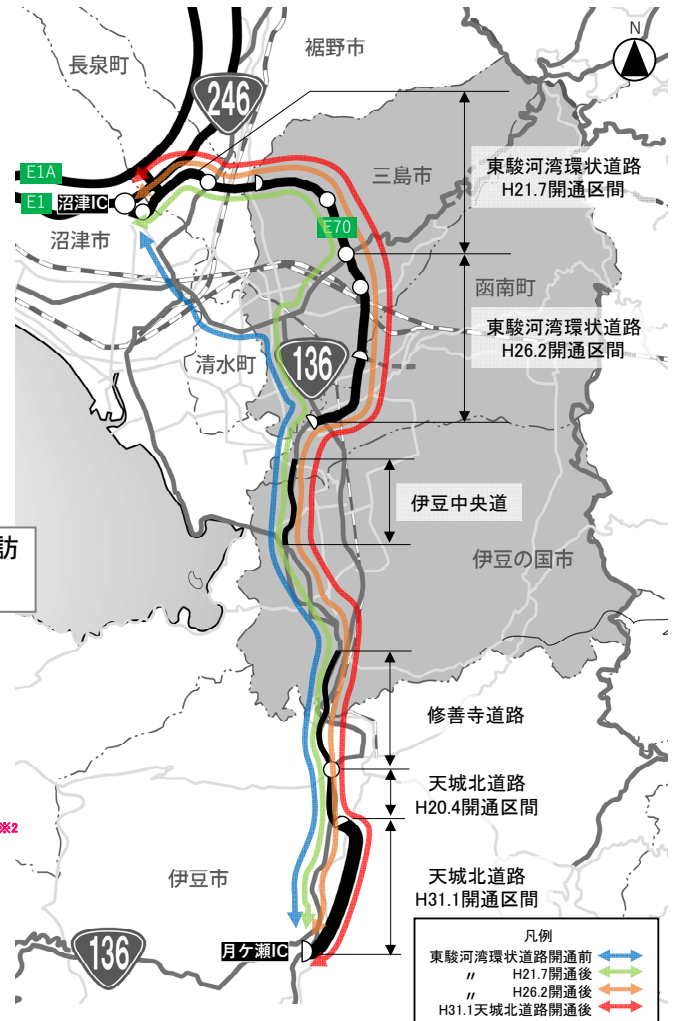
■観光交流客数の増加

沿線市町(三島市・函南町・伊豆の国市)への観光来訪者数が平成21年度に比べて約1.8倍に増加しました。

○観光来訪者数
 (三島市・函南町・伊豆の国市)
 (万人)



※1 令和元年度は10月以降、台風及び新型コロナウイルスの影響を受けて減少
 ※2 令和2年度は新型コロナウイルスの影響を受けて減少
 資料：静岡県観光レクリエーション客数 (H21.4-R3.3)



ひがしするがわんかんじょう
 国道1号 東駿河湾環状道路の状況写真

国道414号 河津下田道路（I期）

河津下田道路（I期）は、伊豆縦貫自動車道の一部を構成し、下田市箕作を起点とし、下田市六丁目に至る延長5.7kmの自動車専用道路です。

下田市街地における観光交通による交通混雑の緩和、交通事故の削減をはじめ、伊豆半島部への高速サービスを提供し、地域の発展、活性化を支援する河津下田道路（I期）の整備を推進します。

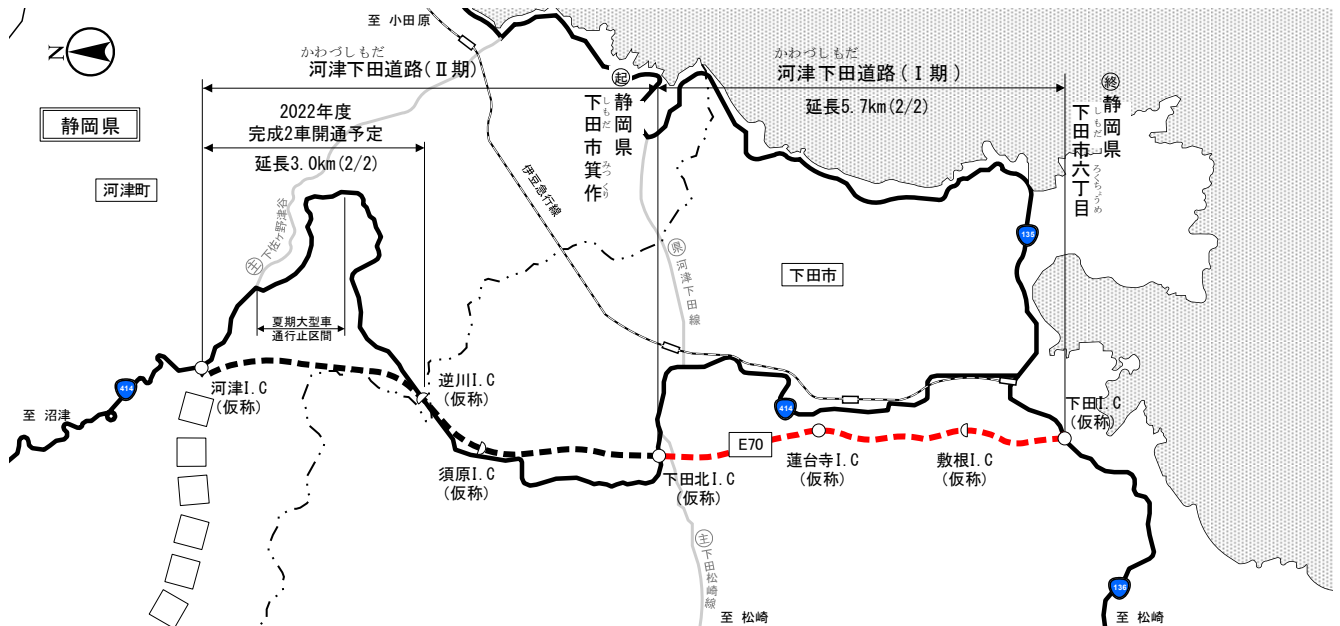
【これまでの取組】

- | | |
|--------------|--------|
| ・平成10年4月 | 新規事業化 |
| ・平成26年11月25日 | 都市計画決定 |
| ・平成27年2月21日 | 中心杭打ち式 |
| ・平成28年8月～9月 | 設計説明会 |

【令和4年度の主な事業内容】

○下田北IC（仮称）～下田IC（仮称）（延長5.7km）

— 橋梁下部工、環境調査、水文調査、用地調査、用地買収、調査設計を推進



国道414号 河津下田道路（Ⅱ期）

河津下田道路（Ⅱ期）は、伊豆縦貫自動車道の一部を構成し、河津町梨本を起点とし、下田市箕作に至る延長6.8kmの自動車専用道路です。

並行する国道の未改良区間の解消をはじめ、伊豆半島部への高速サービスを提供し、地域の発展、活性化を支援する河津下田道路（Ⅱ期）の整備を推進します。

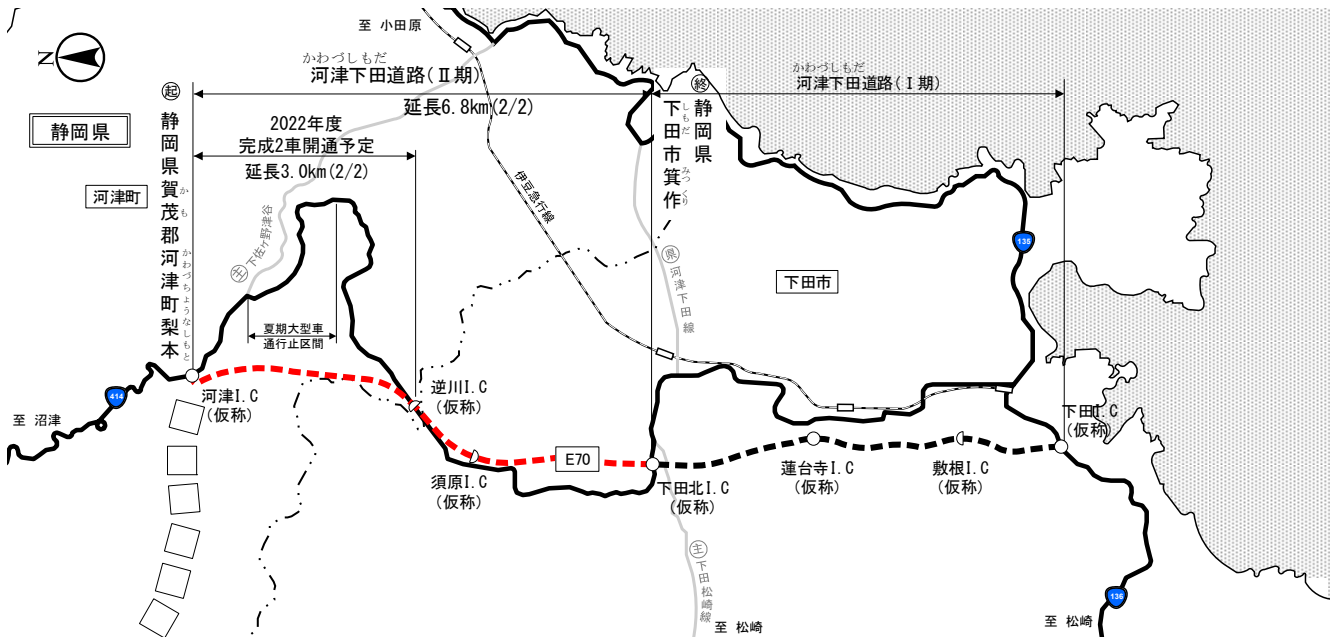
【これまでの取組】

- ・平成24年4月 新規事業化
- ・平成27年2月21日 起工式

【令和4年度の主な事業内容】

○河津IC（仮称）～下田北IC（仮称）（延長6.8km）

- －改良工、橋梁上下部工、トンネル設備工、舗装工、環境調査、水文調査、用地買収、移転補償、調査設計を推進

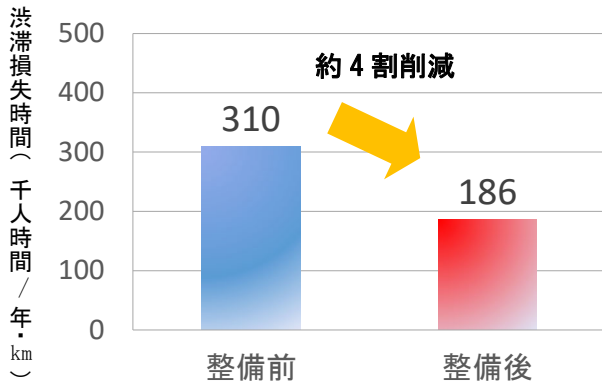


<整備効果>

■観光支援、渋滞の緩和

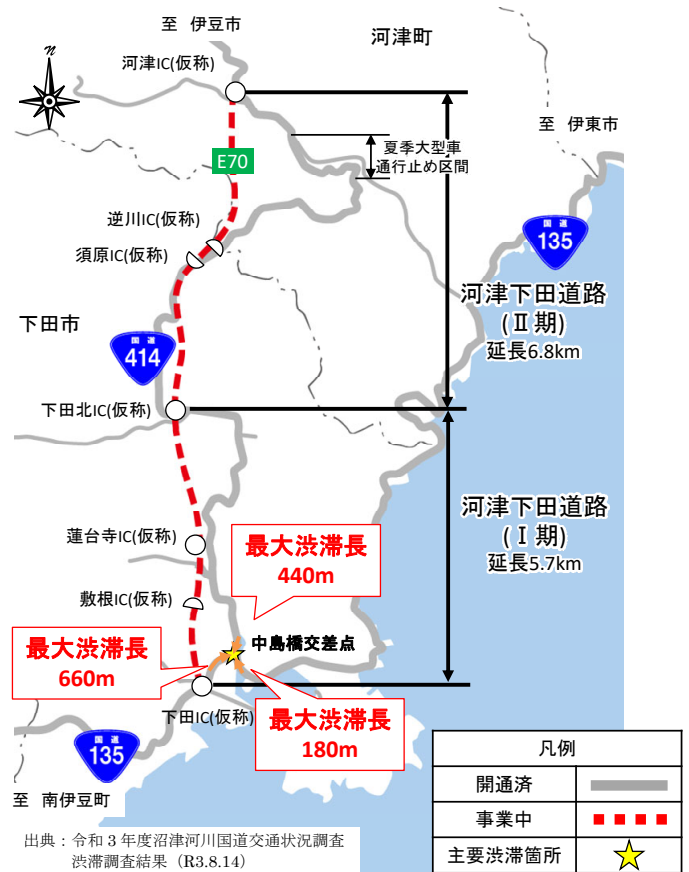
河津下田道路(Ⅱ期)の整備により、国道414号の夏季大型車通行規制区間を回避でき、観光交通のスムーズな通行が可能になります。また、河津下田道路(Ⅰ期)の整備により国道414号の交通が転換すると考えられ、中島橋交差点の渋滞損失時間が約4割削減することが期待されます。

○中島橋交差点の渋滞損失時間の変化



※整備前：渋滞損失時間確定値(R1)は、平均旅行時間と基準旅行時間の差(ETC2.0プローブ情報)に交通量(全国道路・街路交通情勢調査)と平均乗車人員を乗じて、年間のkmあたりとして算定

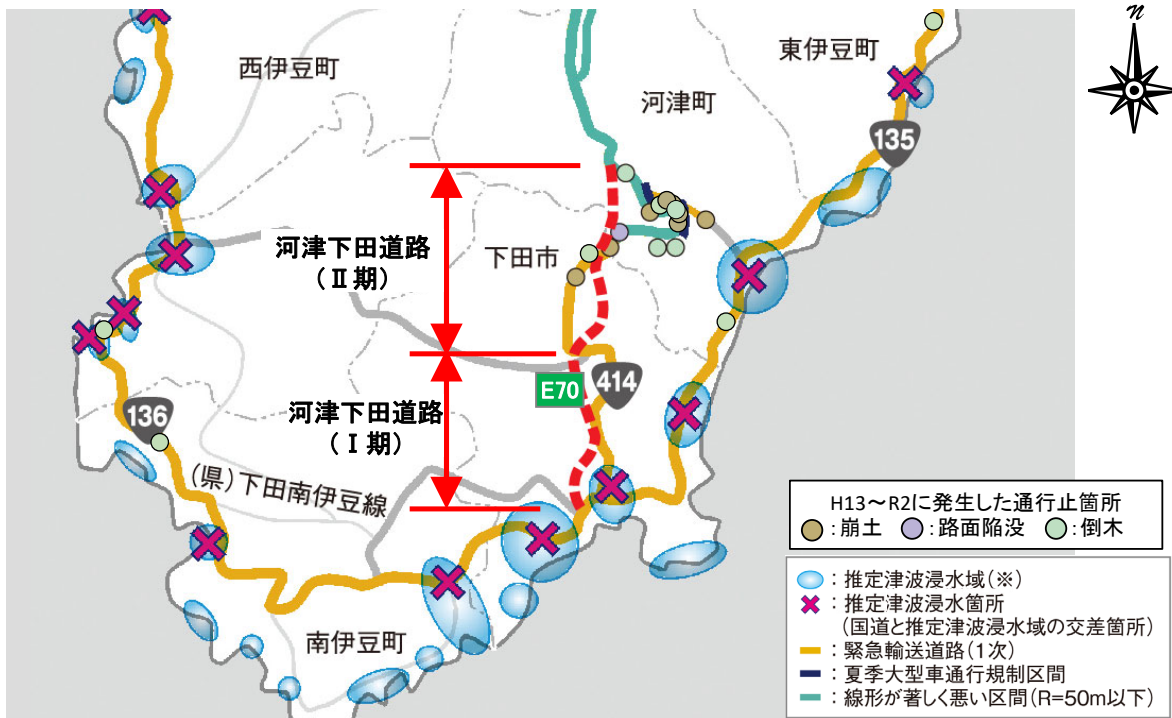
整備後：交通量推計により整備あり・なしにおける渋滞損失時間の変化率を求め、現況値に乗じて算定



出典：令和3年度沼津河川国道交通状況調査 渋滞調査結果 (R3.8.14)

■緊急輸送道路の機能強化

南海トラフ巨大地震による津波浸水区域、線形不良区間を回避するルートを確認することで、災害時の安全性・信頼性が確保されます。



※出典：南海トラフ巨大地震の被害想定(第二次報告)(H25.3)

■救急医療活動の支援

伊豆縦貫自動車道の整備により、第三次救急医療施設までの1時間到達圏域が拡大され、救急医療活動を支援します。

○第三次救急医療施設1時間到達圏の拡大

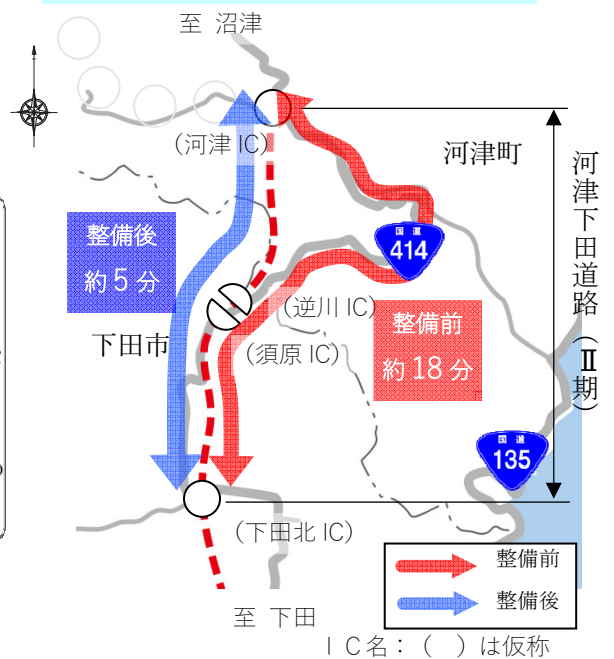
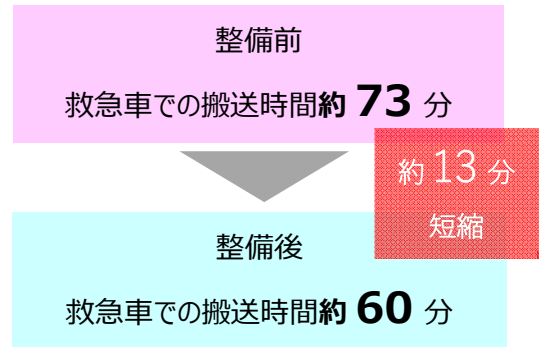


出典：H27年全国道路街路交通情勢調査より各市役所・役場を起点として算出

○救急救命率の向上

【下田市から多量出血で搬送の例】

心臓停止や、呼吸停止、多量出血後は時間の経過とともに死亡率が上昇するため、一刻も早く救急病院に搬送する必要があります。



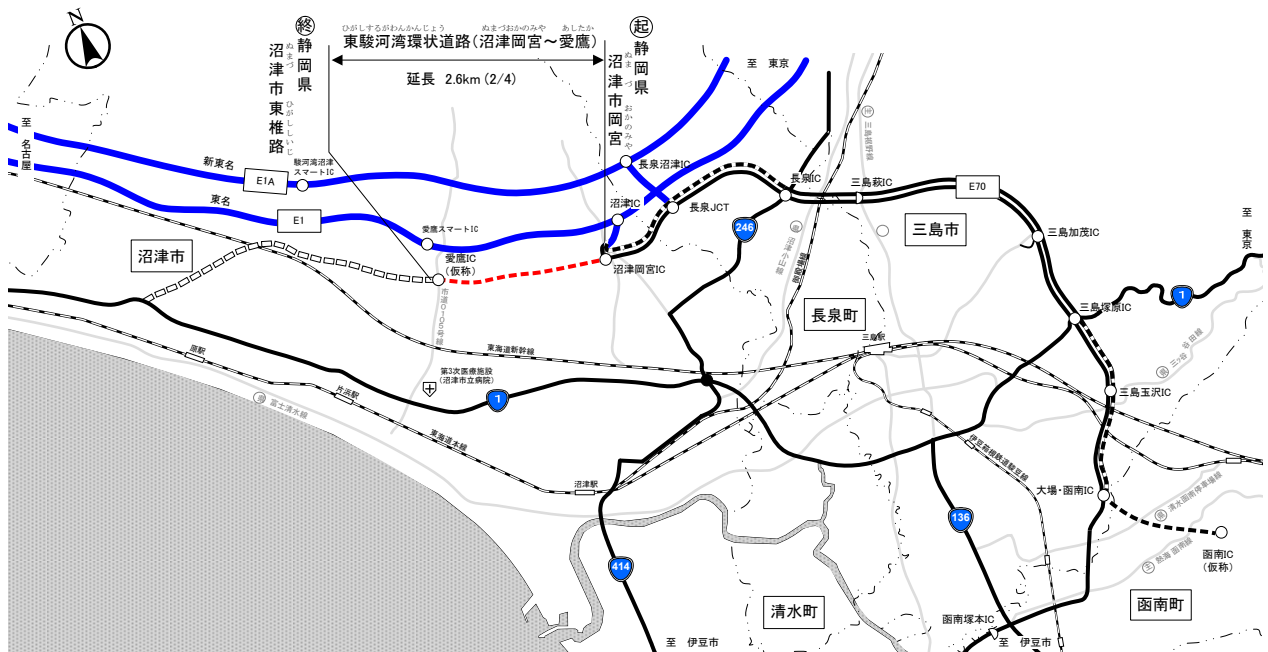
■国道414号河津下田道路の状況写真



国道1号 東駿河湾環状道路（沼津岡宮～愛鷹）

国道1号東駿河湾環状道路（沼津岡宮～愛鷹）は、沼津市岡宮を起点とし、同市東椎路に至る延長2.6kmの道路です。

伊豆縦貫自動車道東駿河湾環状道路と一体となって沼津・三島都市圏の環状道路を形成し、現道1号等の慢性的な交通混雑の緩和及び南海トラフ巨大地震時における緊急輸送ネットワークの構築を図るため、東駿河湾環状道路（沼津岡宮～愛鷹）の整備を推進します。



【これまでの取組】

- ・昭和62年10月 都市計画決定
- ・平成27年4月 新規事業化
- ・平成28年7月 中心杭打ち
- ・平成30年6月 設計説明会

【令和4年度の主な事業内容】

○沼津岡宮IC～愛鷹IC（仮称）（延長2.6km）

- 一 地質調査、環境調査、水文調査、埋蔵文化財調査、用地調査、用地買収、調査設計を推進

<整備効果>

■ 定時性・時間の短縮

沼津・三島都市圏を通過する国道1号の交通量の減少が見込まれるなど、都心部での慢性的な渋滞が緩和し、定時性や移動時間の短縮が図られ、住民生活や円滑な企業活動を支援します。

■ 災害に強い緊急輸送ネットワークの構築

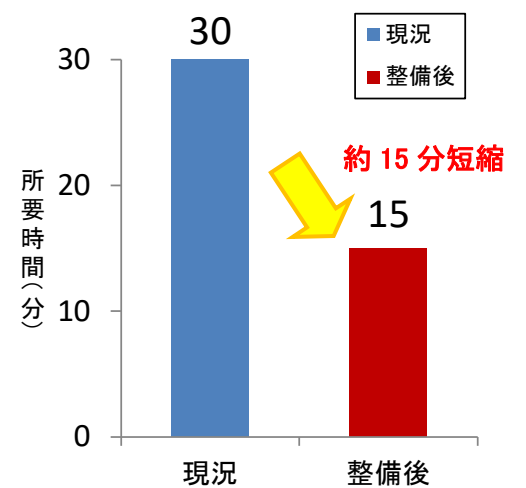
東名、新東名、東駿河湾環状道路と有機的に連結されることで、第三次救急医療施設沼津市立病院へのアクセスルートが確保され、災害に強い緊急輸送ネットワークが構築されます。

○ 第三次救急医療施設までのアクセスルートの変化が想定される

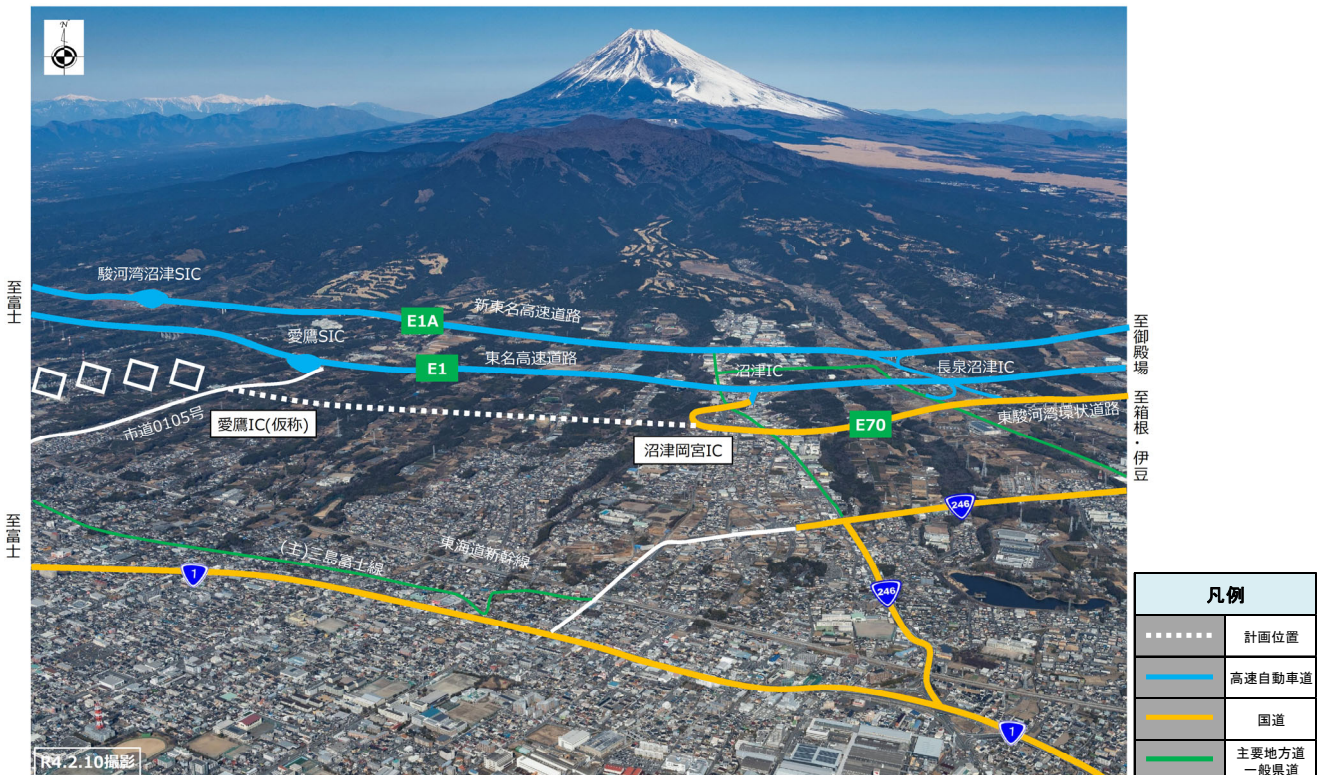
○ 所要時間の短縮の予測



(三島塚原IC 交差点～市立病院南交差点)



※出典 整備前：国道1号 ETC2.0 プローブ情報 (R3.10 平日 12 時間平均)
 整備後：東駿河湾環状道路 (沼津岡宮 IC～三島塚原 IC) ETC2.0 プローブ情報 (R3.10 平日 12 時間平均)
 東駿河湾環状道路 (愛鷹 IC～沼津岡宮 IC) V=60km/h
 沼津市道 V=40km/h で算定

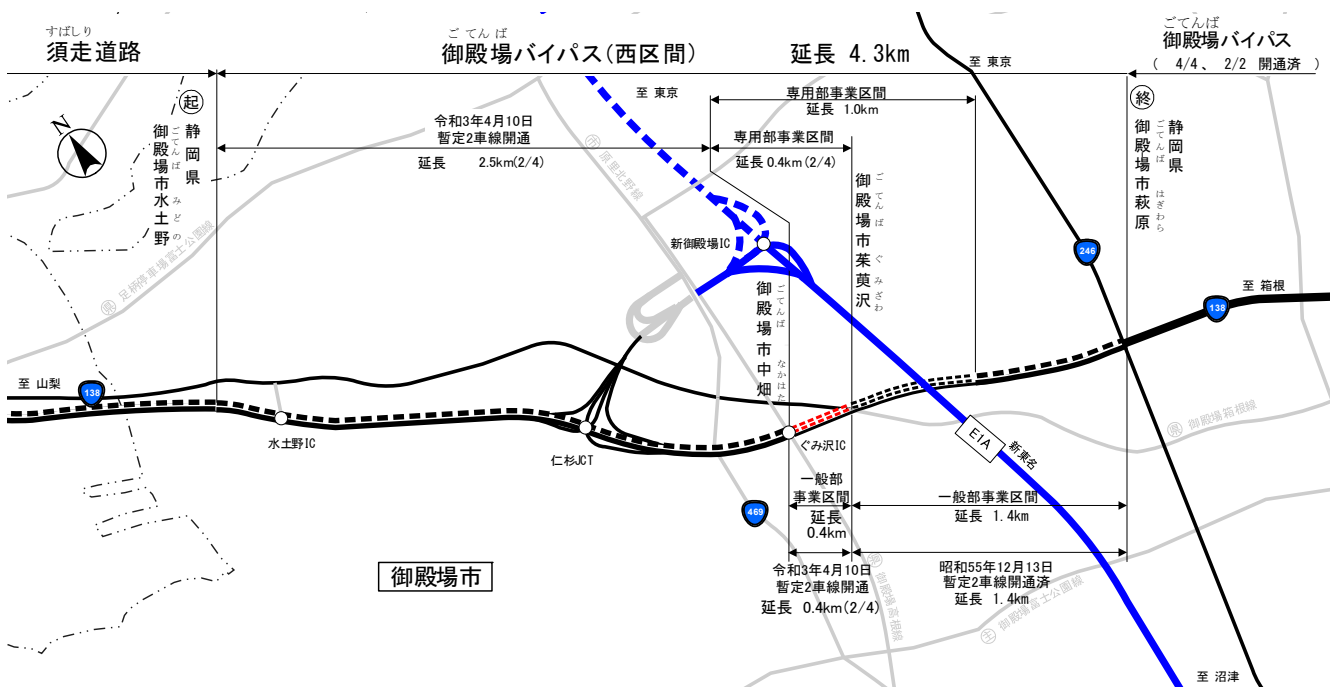


国道1号 東駿河湾環状道路 (沼津岡宮IC～愛鷹IC (仮称)) の状況写真

国道138号 御殿場バイパス（西区間）

御殿場バイパス（西区間）は御殿場市水土野を起点とし、同市萩原に至る延長4.3kmの道路です。

須走道路及び東富士五湖道路等と高速・広域ネットワークを形成することで、観光交通の集中による慢性的な交通混雑の緩和を図るため、御殿場バイパス（西区間）の整備を推進します。



【これまでの開通経緯】

- ・ 昭和55年12月13日 御殿場市ぐみ沢～御殿場市萩原（延長1.4km）暫定2車線開通
- ・ 平成11年4月 新規事業化
- ・ 令和3年4月10日 御殿場市水土野～御殿場市中畑（延長2.5km）暫定2車線開通

【令和4年度の主な事業内容】

- 御殿場市水土野～御殿場市ぐみ沢（延長2.9km）
 - －整備工、移転補償、環境調査、調査設計を推進
- ・御殿場市中畑～御殿場市ぐみ沢（延長0.4km）
 - －環境調査、調査設計を推進

<整備効果>

■交通渋滞の緩和

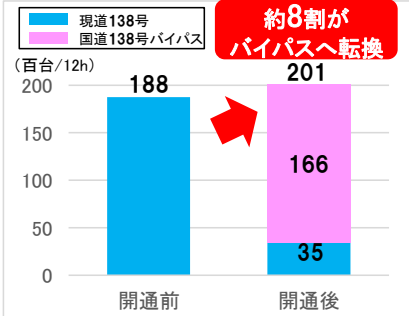
須走道路・御殿場バイパス（西区間）の開通により、並行する現道の交通量が轉換し、顕著な課題となっている観光期（休日）における速度低下が緩和されました。

○開通後の交通渋滞の緩和

【交通量】

観光交通が増加する5月休日において、並行する現道の交通量の約8割がバイパスへ轉換

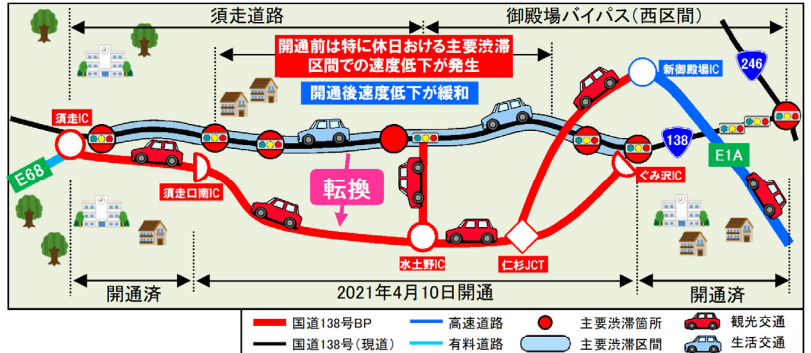
【国道138号断面交通量】



開通前: トラン交通量(水士野) (2019年5月1日~5日の休日平均)
開通前: トラン交通量(水士野) (2021年5月1日~5日の休日平均)

【交通分散】

山梨方面の観光交通が、信号が連担する現道からバイパスに轉換し、生活交通との分散が図られ、現道の速度低下が緩和

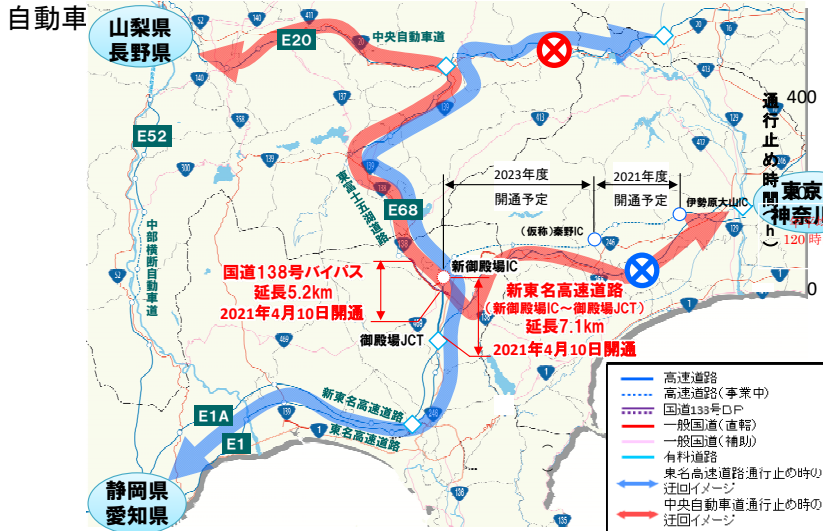


出典: ETC2.0 プローブ情報 (開通前2019年GWと開通後2021年GWを比較)

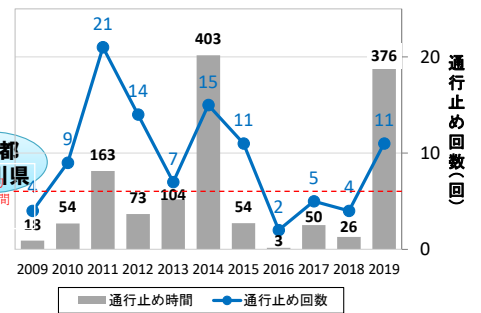
■災害に強い道路機能の強化

須走道路・御殿場バイパス（西区間）の整備により、中央自動車道の通行止め時に、東名・新東名高速道路へ迂回が可能になる等、防災ネットワークが強化されます。

○東名・中央道の通行止め時にも自動車



○中央自動車道の通行止め発生状況



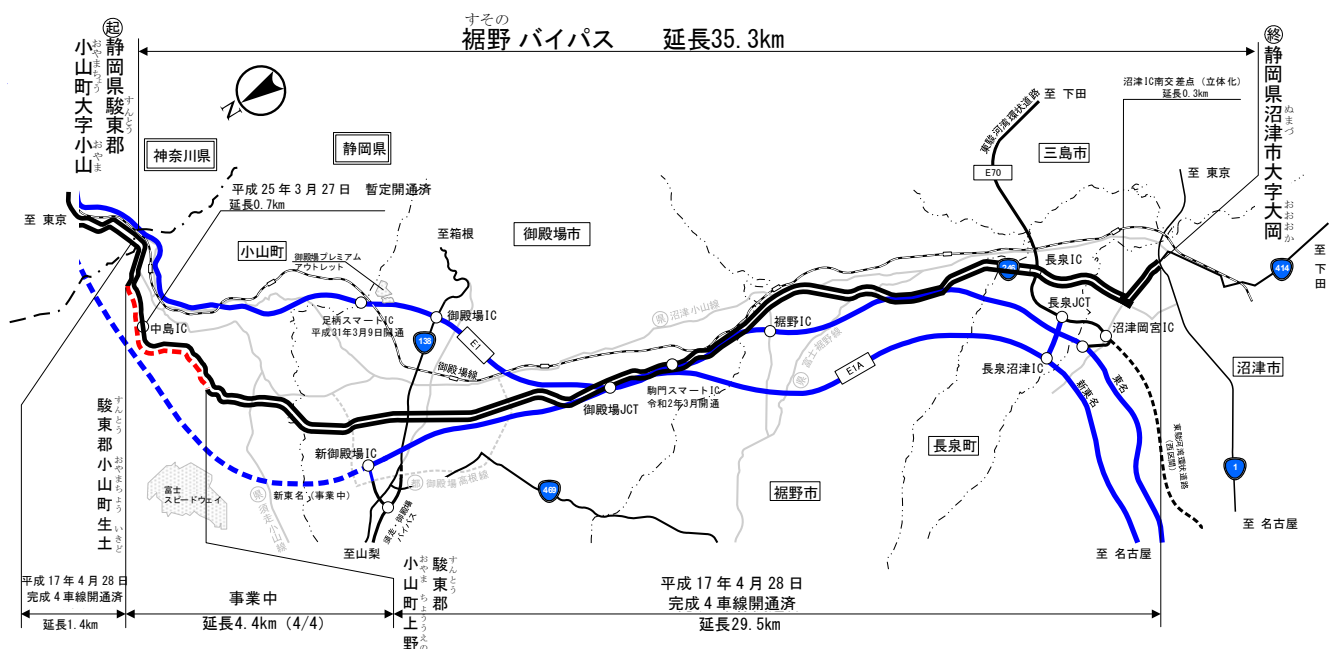
中央自動車道(大月IC~八王子JCT)の通行止め時間
120時間の笹子トンネルで発生した通行止め653時間を除く

※出典 NEXCO 中日本

国道246号 裾野バイパス

裾野バイパスは、駿東郡小山町小山を起点とし、沼津市大岡に至る延長35.3kmの道路です。

裾野、御殿場及び小山町市街地における交通混雑の緩和を図るとともに、首都圏と静岡県東部地域を結ぶ幹線道路としての機能を確保するため、裾野バイパスの整備を推進します。



【これまでの開通経緯】

- 平成17年4月28日 駿東郡小山町小山～駿東郡小山町生土（延長1.4km）
完成4車線開通
- 平成17年4月28日 駿東郡小山町上野～沼津市大岡（延長29.5km）
完成4車線開通
- 平成25年3月27日 中島（暫定）IC開通

【令和4年度の主な事業内容】

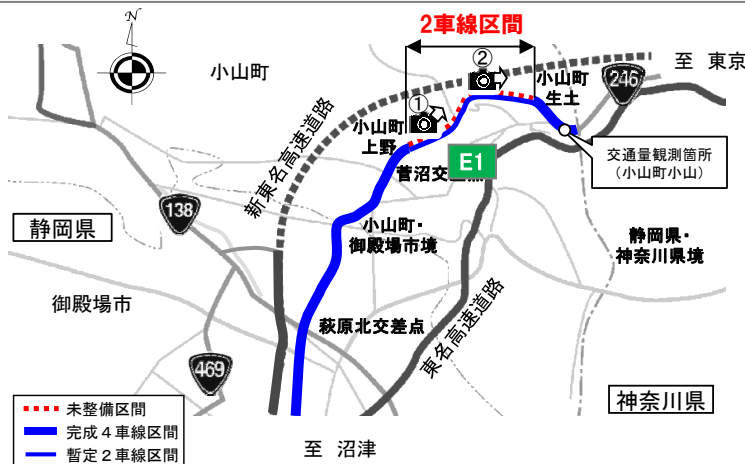
○駿東郡小山町生土～駿東郡小山町上野（延長4.4km）

－測量、環境調査、水文調査、用地調査、用地買収、調査設計を推進

<整備効果>

交通渋滞の緩和

裾野バイパスの4車線整備により観光期（休日）における交通渋滞が緩和し、円滑な交通の流れの確保が期待されます。



①大久保トンネル手前（上り）の交通状況



(R2.2撮影)

②城山トンネル手前（上り）の交通状況

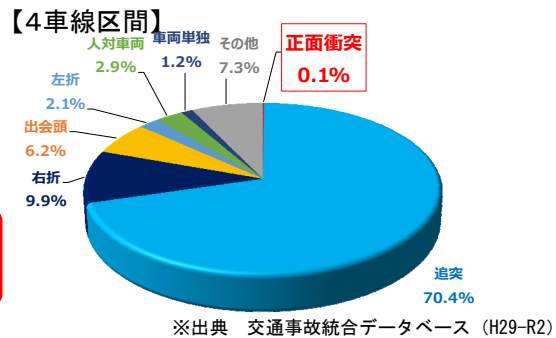
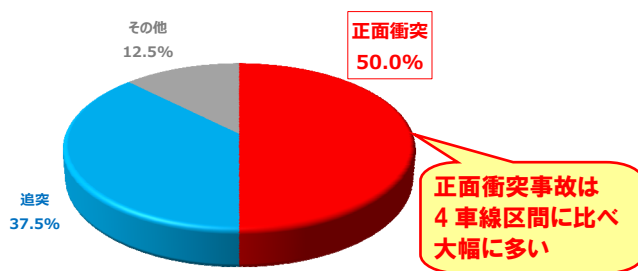


(R2.2撮影)

交通事故の削減

裾野バイパス4車線整備により、重大事故の危険性が高い正面衝突事故の発生件数の減少が期待されます。

○裾野バイパスの事故発生状況
【2車線区間】



国道246号 裾野バイパス（中島IC付近）の状況写真

道路管理関係

■道路の維持管理

- ・ 日常の道路パトロールや路面清掃、除草など適切な道路の維持管理により「安全」で「安心」して通行できる道路を確保します。
- ・ 冬期には大雪に備え、他の道路管理者や警察などと連携し、道路交通網の混乱を最小限に抑えるよう効率的な除雪作業を行います。



除雪作業(国道1号)



タイヤチェック(国道138号)

■道路の老朽化対策

○メンテナンスサイクルの実施

- ・ 道路施設は5年に1度、定期的に近接目視点検を行います。
(橋梁、トンネル、函渠、横断歩道橋、舗装など)



橋梁点検車による点検



高所作業車によるトンネル点検

- ・自治体の職員が点検を適切に行えるようにするため、道路メンテナンス会議のなかで橋梁点検研修を開催する等、自治体支援を行います。



自治体向け橋梁点検研修(座学)



自治体向け橋梁点検研修(現地実習)

■道路の防災・震災対策

- 東海地震などに備え、橋の耐震対策を実施することで、地震発生時における被害を軽減し、円滑かつ迅速な応急活動を支援するための緊急輸送ネットワークの確保を図ります。

【橋梁の耐震補強実施事例】



施工前



完成

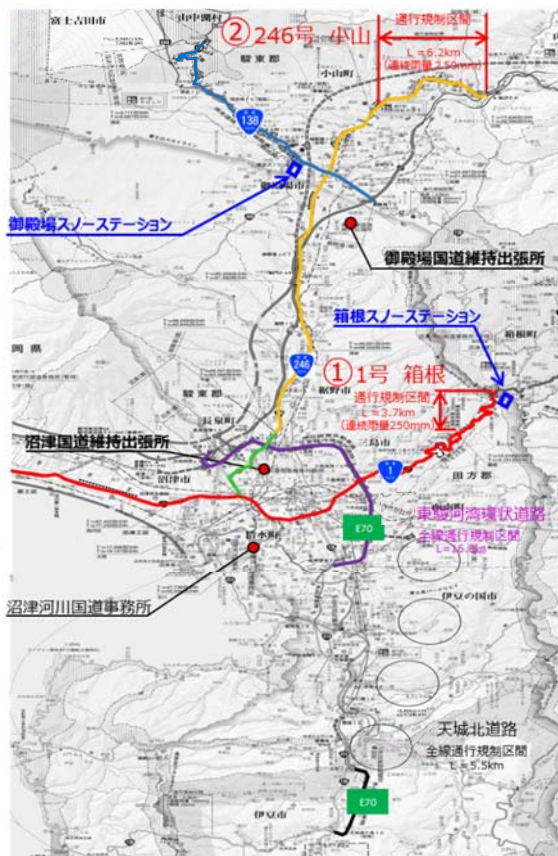
管理区間総延長：107.5km

○沼津国道維持出張所（管理延長 60.6km）

国道1号	函南町～富士市	管理延長 32.9km
国道246号	長泉町～沼津市	管理延長 5.5km
国道1号 東駿河湾環状道路（伊豆縦貫自動車道）	沼津岡宮IC～函南塚本IC	管理延長 16.7km
国道414号 天城北道路（伊豆縦貫自動車道）	月ヶ瀬IC～大平IC	管理延長 5.5km

○御殿場国道維持出張所（管理延長 46.9km）

国道138号	小山町～御殿場市	管理延長 16.7km
国道246号	小山町～裾野市	管理延長 30.2km



大雨

○事前通行規制区間

	路線名	名称	担当出張所	交通規制		区間延長	通行規制（通行止） 気象条件
				区間	距離標		
①	1	箱根	沼津国道維持出張所	静岡県田方郡函南町 桑原地内	103.0kp ～ 106.7kp	3.7km	連続雨量 250mm
②	246	小山	御殿場国道維持出張所	静岡県駿東郡小山町大字生土 ～ 静岡県駿東郡小山町大字棚頭	89.4kp ～ 95.6kp	6.2km	連続雨量 250mm

規制区間において、交通が危険と判断された場合には、連続雨量に達する前でも通行規制を行います。

大雪

○予防的通行止め区間

	路線名	名称	担当出張所	交通規制		区間延長
				区間	距離標	
①	1	箱根	沼津国道維持出張所	静岡県田方郡函南町 桑原地内	103.0kp ～ 106.7kp	3.7km
②	246	小山	御殿場国道維持出張所	静岡県駿東郡小山町大字生土 ～ 静岡県駿東郡小山町大字棚頭	89.4kp ～ 95.6kp	6.2km
③	東駿河湾環状道路		沼津国道維持出張所	静岡県田方郡函南町塚本 ～ 静岡県沼津市足高	109.6kp ～ 126.4kp	16.8km
④	138	須走	御殿場国道維持出張所	静岡県駿東郡小山町 須走地内	15.3kp ～ 20.6kp	5.3km
⑤	天城北道路		沼津国道維持出張所	静岡県伊豆市月ヶ瀬 ～ 静岡県伊豆市大平	0.0kp ～ 5.5kp	5.5km

○チェーン規制区間

	路線名	名称	担当出張所	交通規制		区間延長
				区間	距離標	
④	138	須走	御殿場国道維持出張所	静岡県駿東郡小山町 須走地内	15.3kp ～ 20.6kp	5.3km

H31.2.1
運用開始

交通安全関係

- 「静岡県事故ゼロプラン～事故危険区間重点解消作戦～」に基づき、交通挙動分析や現地地点検等により、的確な評価分析を行い、重点的かつ効果的に交通事故対策を進めます。
- 歩行者や自転車が安心・安全に通行できる歩道空間を確保します。
- 電線共同溝を整備し無電柱化することで、地震災害に強い道路を目指すとともに、良好な都市景観の形成に向けたまちづくりを支援します。
- 生活道路における事故削減を目指し、技術的支援をはじめとする地域との連携を推進します。

◆交通安全対策

【令和4年度の主な事業箇所】

○静岡県 すんとう おやま うえの 駿東郡 小山町 上野 静岡246号交通安全対策事業（おやま うえの 小山上野地区視距改良）

- ・ 安心で安全に通行できるように線形改良を実施し、交通事故の防止を図る。
 - － 調査設計、用地買収、工事を実施

○静岡県 すんとう ながいずみ 駿東郡 長泉町 静岡246号交通安全対策事業（ながいずみ 長泉IC交差点改良）

- ・ 右折レーンを延伸することにより、交通事故の防止を図る。
 - － 調査設計、工事を実施

○静岡県 ぬまづ みどりがおか にしさわだ 沼津市 緑ヶ丘～西沢田 静岡1号交通安全対策事業（ぬまづ 沼津西部地区歩道空間改善）

- ・ 横断歩道橋階段部の取り付け位置の変更により、歩行者が安全・安心に通行できる歩道空間の確保を行う。
 - － 調査設計、工事を実施

○静岡県 すんとう しみず たまがわ やはた 駿東郡 清水町 玉川～八幡 静岡1号交通安全対策事業（しみず 清水町地区歩道空間改善）

- ・ 植栽帯のコンパクト化により、歩行者が安全・安心に通行できる歩道空間の確保を行う。
 - － 調査設計、工事を実施

◆電線共同溝

【令和4年度の主な事業箇所】

○静岡県 すんとう しみず たまがわ やはた 駿東郡 清水町 玉川～八幡 静岡1号電線共同溝事業（ふしみ 伏見電線共同溝）

- ・ 無電柱化することにより、良好な景観形成や震災時における緊急輸送道路の確保、安全で快適な歩行空間の確保を行う。
 - － 調査設計を実施

○静岡県 すんとう おやま すばしり 駿東郡 小山町 須走 静岡138号電線共同溝事業（すばしり 須走電線共同溝）

- ・ 無電柱化することにより、良好な景観形成や震災時における緊急輸送道路の確保、安全で快適な歩行空間の確保を行う。
 - － 工事を実施

交通安全対策等状況写真

R 1 3 8 須走電線共同溝

地震時に倒れ、緊急車両の通行を阻害することが懸念される電柱・電線

R 2 4 6 長泉IC交差点改良

右折車両の滞留が右折レーンをはみ出し、直進車両を阻害している

R 1 沼津西部地区歩道空間改善

横断歩道橋の階段が歩道の有効幅員を狭め、歩行者等の障害となっている



R 2 4 6 小山上野地区視距改良

国道246号静岡神奈川県境付近は、大型車が多く急勾配かつ急カーブが連続する

R 1 清水町地区歩道空間改善

清水町地区の国道1号の歩道は多くの方が利用するが植栽帯が幅員の半分を占めている

R 1 伏見電線共同溝

地震時に倒れ、緊急車両の通行を阻害することが懸念される電柱・電線

生活道路における事故削減

「沼津市 花園町地区」は静岡県初の「ゾーン30プラス」です。生活道路における人優先の安全・安心な通行空間の整備を道路管理者と警察が連携しながら進めています。

